

ふれあいネットワーク

ふれあい



11月7日(土) 世代間交流事業

第3回「ふれあいもちつき」 懐かしい遊びと餅つきで交流！

歳末たすけあい募金の助成を受け、3回目の「ふれあいもちつき」を開催。参加者に笑顔があふれました。（5ページをご覧ください）



 別海社協だより

社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています

発行 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会

〒086-0203 北海道野付郡別海町別海西本町36番地

☎(0153) 75-2148 ・ ☎ 75-0457



平成二十八年 新年の御挨拶

別海町社会福祉協議会

会長 米谷

聡

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、健康で、希望に満ちた
初春を迎えられましたことをお喜び
申し上げます。

昨年中は、皆様方、並びに関係団
体の方々には、別海町社会福祉協
会の運営及び諸事業に対し、深い御
理解と御協力を賜り、心から感謝申
し上げます。

また、当社協の運営に欠かせない
社費、寄付金、共同募金委員会を通
じた共同募金をお寄せいただきまし
たことに重ねて厚くお礼と感謝を申
し上げます。

さて、昨年は、当会にとつて忘れ
ぬことのできない1年でありました。
4期8年に渡り当会会長として「地
域福祉」の推進に御尽力され、我々

を指導してくださいました木村征俊
さんが9月に職務中突然倒れ、帰ら
ぬ人となりました。

改めまして、御冥福をお祈りいた
します。

その後任として、私が、昨年11月
に別海町社会福祉協議会会長に選任
されました。思いもよらない事態で
あり、もとより残学菲才の身で前会
長の意思を引き継ぎ、社会福祉協
会の使命である「誰もが安心して暮
らせる福祉のまちづくり」の体現化
ができるのだろうか、自問自答した
日々がありました。

しかしながら、会務の停滞は許さ
れず、微力ではありますが、これま
での経験を踏まえ、関係各位の御支
援と御協力の下、この大役をお引き
受けすることになりました。

地域福祉の充実と発展のため、努
力してまいる所存ですので、どうぞ
よろしく願います。

近年、社会環境の大きな変化に加
え、生活意識の多様化から、殺人、
虐待などの事件や高齢者への特殊詐
欺事件が連日のように報道されてお
ります。

こうした、現代の世相を反映した
日常生活の変容は、人々の連帯感を
喪失させ、社会の一隅に孤立や無縁
を生み出しています。

このような中、私たちは今一度、
これからの地域社会における新たな
支え合いを創造して行かなければな
らないと感じています。

誰もが安心して暮らすことのでき
る「福祉のまちづくり」を使命とす
る社協には、こうした地域社会の多

様な課題を受け止め、その解決に向
けた具体的な仕組みづくりが強く求
められております。

当会におきましても、これまでの
実践を糧として、様々な福祉課題に
対応できるよう、町民の皆様はじめ、
行政、関係機関、団体等との連携を
図りながら、誰もが住み慣れた地域
で安心して暮らせる福祉のまちづく
りを目指し、役員一丸となって地
域福祉の向上に努めてまいります。
結びに、皆様方の御健勝と御多幸
を祈念いたしまして、年頭の御挨拶
といたします。



平成27年度 赤い羽根共同募金中間報告

別海町共同募金委員会

平素より、共同募金運動の活動に
対しまして、心温かい御理解のもと
御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、10月1日より実施しまし

た「赤い羽根共同募金運動」におき
ましては、全町民の皆様、企業関係、
学校、老人クラブ、職域、街頭募金
などに募金をお寄せいただき誠にあ
りがとうございました。

お寄せいただいた募金は、北海道
共同募金会に納めた後、審査委員会
を経て、平成28年度に福祉団体や施
設等へ助成し、地域福祉の様々な事
業に活用させていただきます。

平成27年度 赤い羽根共同募金実績

実績	額	3,305,151円
目標	額	4,300,000円
達成	率	76.86%

2015.12.21現在

募金種別	件数	金額(円)
戸別	2,609件	1,700,496
街頭	3件	26,324
法人	306件	1,458,000
学校	10件	39,211
興行	6件	22,019
募金箱	40件	50,351
団体・その他	3件	8,750
合計	2,977件	3,305,151

また、12月1日から実施した歳末
たすけあい運動に、職場・団体など
から御協力いただき誠にありがと
うございました。

皆様の善意は、社協より歳末見舞
金として町内の生活困窮世帯、障が
い者グループホーム、小規模作業所、
特別支援教育推進委員会などへお贈
りました。

《歳末募金ありがとう》(敬称略)

中西別小学校、別海中央中学校、中
西別中学校、西春別駅前郵便局、別
海町民生委員児童委員協議会、JA
ほほえみ会、JA道東あさひ女性部
べつかい支部、中春別農協女性部、
別海北の勝を愛する会、本覚寺まど
か仏教婦人会、西春別駅前長命クラ
ブ、上風連睦クラブ、上春別長寿会、
尾岱沼長寿会、中春別春寿会、美原
明友会、奥行桜クラブ、本別海はま
なす会、光進泉寿クラブ、泉川楽生
クラブ、北矢新生クラブ、春別寿会、
野付漁業協同組合女性部、広栄老友
会、昭和末広クラブ、西別赤十字奉
仕団、別海連合町内会女性部、別海
町役場職員、別海消防署職員、中西
別長生文化会、別海ロータリークラ
ブ、別海中央豊生クラブ

街頭募金PRも 行ないました

今年も10月1日からの共同募金運
動の一環として、街頭募金活動を、
別海市街2回、西春別駅前2回の計
4回行ないました。

12月10・11日は、フクハラ別海店
様の出入口にて、別海中央中学校生
徒会の皆さんが共同募金のPRと募
金への協力を呼びかけました。

買い物にいられた多くの町民の皆
様に御協力をいただきありがとうございました。



別海中央中学校生徒会の皆さん



西別赤十字奉仕団の皆さん

「別海りょウシくんピンバッジ」 まだあります!



別海町観光協会様に御協力い
ただき、寄付金付グッズ「別海
りょウシくんピンバッジ」を5
00個限定で製作しております。

バッジは、500円募金で1個プレゼントいたします!
是非、企業・サークル・個人等、皆様の御協力をお願い
いたします。

※製作費を除いた金額が寄付金となります。

問い合わせ：別海町共同募金委員会（電話0153-75-2148）

歳末たすけあい事業

11月7日
第3回
ふれあいもちつき開催

11月7日(土)、一足早く歳末たすけあい事業の一環として「ふれあいもちつき」を開催しました。

乳幼児から高齢者まで世代を問わず、昔ながらのゴムとび、おてだま、折り紙、福笑いなどで一緒に遊び、餅つきから餅まきまで、一日楽しく交流しました。

昔を思い出しながら子供と遊ぶ人初めてだけ楽しかったという親子など、約150名の参加者の笑顔と歓声が会場にあふれました。

この事業は、町民から寄せられた歳末たすけあい募金の助成を受けて



実施しています。募金者の皆さん、また協力いただいた町内会たすけあいチーム、老人クラブ、ボランティアの皆さんありがとうございました。



地域防災啓発事業

10月18日
上春別地区自主
防災訓練実施

10月18日(日)、上春別地区全域で防災避難訓練が行われ、避難後にアルファームの非常食づくり体験と、災害時の注意事項を中心とした講話を行いました。



9月20日

「ボランティア愛ランド北海道2015」ねむろ

別海町から32名参加

9月20日(日)「ボランティア愛ランド北海道2015」ねむろ」が根室市で開催されました。

ボランティアの交流、情報交換を目的に、全道各地から約500名、別海町からも32名が参加しました。

歓迎会では、根室の旬の物を使った昼食が振る舞われ、地元のジャズバンドが出迎えてくれました。

北海道在住の落語家、原正氏が、「笑いコミュニケーション」と題し、自身の人生のどん底から這い上がるきっかけとなった笑いのパワーについて落語を交え講演した後、シンプोजウムでは「出会い、集い、明



日へそして未来へ それぞれの思いをつなげよう」をテーマに地元高校生を含む4名が、それぞれの活動発表やボランティアに対する考え方を話をしました。

収集ボランティア

ご協力ありがとうございました

皆様から寄せられたリングブル・使用済み切手・使用済みテレホンカードは収集団体へ寄贈または、車イス等の福祉用具と交換します。

リングブル

(株)別海では、工事現場や会社内で2年間集めたリングブル30kgを寄贈いただきました。



(株)別海様

10月16日

「生きいきこころの健康講座」を開催

10月16日(金)、別海町交流館ぷらとにて「生きいきこころの健康講座」を開催しました。

当日は、講師4名をお招きし、認知症やうつ病といった病気について学習するとともに、そのような病気を患った方との接し方、また、自身の心の健康保持について学びました。

受講者の皆さんは、熱心にお話を聞いており、メンタルヘルスについての関心の高さを感じました。

閉会後には、個別相談も行われ、相談した人の晴れやかな表情が印象的でした。



ケアマネの部屋 2



介護の世界って奥深い

皆さんは「介護」と聞くとどんなことをイメージされますか？おそらく「大変」という言葉が一番多いのではないかと思います。

確かに介護は人と人とのつながりで、人には皆、感情があつて、それが家族でも他人でも、時にぶつかりあうこともありま

す。
そんな中でも「ありがとう」「あなたの顔を見たらホッとするね」「あなたが居るから頑張れる」など言われると、どこか気恥ずかしい感じもするのですが、「やって良かった」と感じられることがあります。

「人に頼り頼られる、感謝したりされる」ことは、人間が生きていく上で、「励み」になる、なくてはならないことなんだと改めて思います。

皆さんに少しでも笑顔とありがとうが増え、日々、心地よく生活して頂けますよう、お手伝いのできたらと思います。(未)

10月31日

特別養護老人ホーム新施設に引越 くボランティア58名が汗をながしました

特別養護老人ホーム清翠園が新設され、10月31日に入居者の引っ越しが行われました。

別海町ボランティアセンターで協力を募ったところ、58名の方が参加し、職員と一緒にベッドや身の回り品等の移動を行いました。

当日朝9時から順調に作業がすすみ、無事昼前に引っ越しを終えました。



11月25日

小地域ネットワーク活動「実践者交流会」開催 「住んでいる地域の見守り・サロン活動をすすめよう」

町内のサロン活動・見守り活動などの実践者を対象に、11月25日(水)交流館ぶらと(別海)において「活動実践者交流会」を開催しました。

高齢化はじめ社会情勢が様々な変化している今、近所同士・地域住民同士が見守り、支え合う「小地域福祉活動」に期待が寄せられています。情報交換では、別海地区の第二旭町内会、新栄町内会の各たすけあいチームが、独居高齢者宅への見守り訪問や町内会館等を利用した交流活動について実践発表しました。またグループで実践活動に応用で



きる「気軽にできる遊び」「チラシ作り」を行ない、参加者同士の交流も深まりました。

社協では、サロン活動や見守り活動に取り組む地域を支援しますので、ぜひご相談ください。

お知らせ

社会福祉協議会職員募集

別海町社会福祉協議会では、下記のとおり平成28年度採用職員を募集します。

社協事務局事務職員 1名

■資格要件 日商簿記3級以上、要普通自動車運転免許

ケアハウス「みどり野」介助員兼事務員 1名

■資格要件 介護初任者研修修了者(旧2級ヘルパー)以上優遇、要普通自動車運転免許

いずれも嘱託職員として平成28年4月1日から採用とします。給与は、社会福祉協議会給与規定に基づき支給します。

■提出書類 履歴書(写真貼付)・資格取得証明書(資格証明写し・見込証明書)・免許証(写し)

■提出期限 平成28年2月15日(月)必着
(履歴書の返却はできませんので御承願います)

選考日時は、応募者に追って連絡します。
お問い合わせは、社会福祉協議会までお願いします。
電話 0153-75-2148 (平日9:00~17:00)

赤い羽根共同募金行事用テント 設置しませんか?

地域住民が福祉活動や行事等に使用する行事用テントを設置(購入)される町内会等へ総事業費の半額を助成いたします。
設置(購入)希望の町内会等は、平成28年1月12日までに別海町共同募金委員会へお問合わせのうえ、お申込みください。

■行事用テント価格・仕様

行事用テント 1張		総事業費	助成額
		199,500円	99,750円
生地	テトロン100% 天幕重量:24kg 色合:ブルー	【寸法】	
支柱	鋼製 直径31.8mmパイプ使用 電気メッキ仕上げ 重量:76kg		
員数(鉄骨数)	支柱6本、合掌6本、桁7本、棟1本		
張り網	4本		
横幕	3方囲い/1方囲い 横幕重量:24kg		
その他	屋根幕:指定文字マーク入り		

※別海町社会福祉協議会で貸出している行事用テントと同型です。

約30名の方と共に町主催「市民後見人養成研修」を受講しました。皆さんとても熱心で、これが「福祉の地域資源」だなぁと納得。判断力の低下で財産の管理等(お金のありなしに関わらず)が難しくなり、後見を必要とする人は年々増えていく。自身の問題として色々と考えさせられる研修でした。(A)

あとがき

小林 敏三(尾岱沼港町)
村上 紀子(尾岱沼港町)
安齊 幸雄(上春別)
齋藤 貞一(大成)
奥山 秀助(豊原)
阿部 美幸(別海川上町)
小原 辰夫(別海常盤町)

12月1日
守屋 典子(別海)
千葉 豊子(別海川上町)
信田 實(上風連)
ヤマギシズム(別海)
清尾 武弘(別海常盤町)
兼松 茂雄(別海川上町)
石立 隆利(中春別)
川口 清典(別海常盤町)
安部 政博(上風連)
門脇 進(西春別)
佐々木 憲一(西春別駅前柏町)
大橋 勝彦(本別海)
沓掛 市男(床丹)

献血のおねがい

平成27年度・第4回 献血を実施します

～下記の日程で「移動採血車「ひまわり号」が町内を巡回します～

実施日	実施場所	受付時間
2月1日(月)	コープさっぽろ ベつかい店	12:30~16:30
2月2日(火)	J A道東あさひ本所兼別海支所	9:00~11:30
	中春別農業協同組合	13:00~14:30
2月3日(水)	北海道別海高等学校	15:30~17:00
	別海町役場	9:00~11:45 13:00~16:30
2月4日(木)	陸上自衛隊別海駐屯地	9:00~12:00
	J A道東あさひ西春別支所	13:30~16:30
2月5日(金)	J A道東あさひ上春別支所	9:00~11:15
	(株)明治 西春別工場 森永乳業(株)別海工場	13:00~14:15 14:45~16:00

※陸上自衛隊別海駐屯地での献血は自衛隊員を対象としております。大変申し訳ございませんが、一般の方はご遠慮願います。

日本赤十字社別海町分區

別海町別海西本町36番地(社会福祉協議会内)
TEL 0153-75-2148

年間総献血量は、
男性 1200ml以内
女性 800ml以内です。

※献血カード(裏面)に記載してあります「次回献血可能日」をご確認の上ご協力お願い致します。



大平 トメ子(西春別) 9月
楠瀬 功(別海鶴舞町) 10月
木村 碩子(別海) 10月
奥山 敦子(別海旭町) 10月
岡部 フミ子(中春別) 10月
片岡 喜代江(上春別) 10月
小林 勲(中春別東町) 10月
千葉 寿(中春別) 10月
渡邊 悟(走古丹) 10月

「ご寄付ありがとうございました」

平成27年9月24日~平成27年12月21日まで

(敬称略)